

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 丸眞製作所					
代表者名	氏名	高木 克彦	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県岡谷市10016番地471					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2465 金属熱処理業				
主たる事業の概要	金属熱処理					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2901	2813	3068	3187	3264
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6040	5858	6393	6639	6802
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	19		19	19	19
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	136		128	145	168

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

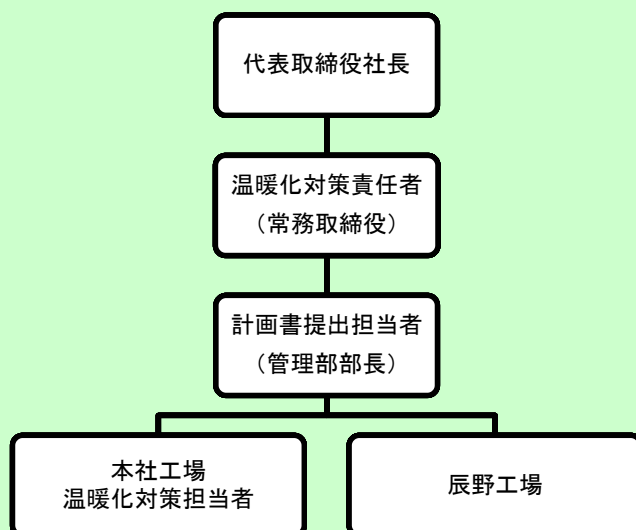
<input type="checkbox"/>	ホームページ	株式会社 丸眞製作所 管理部 (9:00~17:00) Tel 0266-75-8101
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・前年度のCO₂排出量を、CO₂排出原単位において1パーセント以上の低減を目指す。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

原価生産会議 (1回/月)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,040	t-CO ₂	寄与度の合計		単位	
28年度	調整後排出量	5,996	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	5,858	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.01	%	3.01
目標設定に関する説明	3年間で3%以上のCO ₂ 排出原単位低減を目標とする。						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,393	t-CO ₂	寄与度の合計		単位	
	調整後排出量	6,335	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(5.85)	%	削減率		%	3.66
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 増加理由として、平成27年4月に増設した新設ラインが本格稼働を始めた為、排出量が増加した。 (行った対策) コンプレッサー2台を並列運転していたが、平日の昼夜(月曜日8:00~金曜日17:00)のみ1台を完全停止する様にした。 空調設備温度について、管理標準に準じた設定温度で確実な運転を行った。 						
第二年度	排出量	6,639	t-CO ₂	寄与度の合計		単位	
	調整後排出量	6,591	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	(9.92)	%	削減率		%	6.86
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 新設ラインが本格稼働を続けている為、売上が2017年度より更に増加し、原単位については目標達成する事が出来たが、総排出量は増加した。 (行った対策) ・フォークリフトの駆動エネルギーをガソリンから電気に変更する事により、揮発油の使用量低減を図った。 ・夏季のエアコン使用時は、ブラインドを活用しエアコンの稼働率低減を図った 						
第三年度	排出量	6,802	t-CO ₂	寄与度の合計		単位	
	調整後排出量	6,741	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	(12.62)	%	削減率		%	1.14
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>排出抑制計画を実行しながら各種省エネルギーに取り組んだが、2019年度に新ラインを増設した結果、総排出量は増加した。3ヶ年の実績としても、受注増加及び新規受注開拓を目的とした設備増設の影響により、目標削減率は未達成となった。</p> <p>(行った対策) 配管及び設備からのエアリーク箇所修繕による、コンプレッサーの稼働率低減を図った。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
28年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	136	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	128	t-CO ₂	削減率	5.88	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	145	t-CO ₂	削減率	-6.62	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	169	t-CO ₂	削減率	-24.27	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 LEDの導入	H29		H29	13
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	KW	44	0	44	44	44

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	44		58	48	61
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,839	1	5,198	1	5,449	1	5,616
1,500k1未満	1	1,201	1	1,195	1	1,190	1	1,186
合計	2	6,040	2	6,393	2	6,639	2	6,802

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	1	1	1	1
その他 (ハイブリッド等)	4	4	4	4
合計	5	5	5	5
自動車総数	19	19	19	20
次世代車導入割合	26.3	26.3	26.3	25

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	無し
その他	無し

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	無し
公共交通機関の利用促進	無し
来客者の交通対策	無し
物流の合理化	無し

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO 14001	2011/7/11
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別の周知徹底 ・蛍光灯の使用電力削減 ・アイドリングストップの周知徹底
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別の周知徹底 ・蛍光灯の使用電力削減 ・アイドリングストップの周知徹底
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別の周知徹底 ・蛍光灯の使用電力削減 ・アイドリングストップの周知徹底
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別の周知徹底 ・蛍光灯の使用電力削減 ・アイドリングストップの周知徹底

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	平成26年度、太陽光発電設備導入 (4.4KW) 電気炉のメンテナンス、冷却塔の藻防止のための薬剤添加	
その他	クールビズ・ウォームビズの推進	